

## 令和元年度 第1回 みんなで支える森林づくり佐久地域会議概要

### 1 開催日時 令和元年7月29日(月)

現地視察 9:30～12:15

会 議 12:55～14:30

### 2 開催場所

現地視察 小海町、南相木村、川上村

会 議 南佐久南部森林組合会議室

### 3 出席者

(1) 委員 桜井 豊委員(立科町農林係長)、油井 郁恵委員(南佐久南部森林組合 参与・座長)、高見澤 洋子委員(双葉林業合資会社)、福江 佑子委員(NPO 法人 生物多様性研究所 あーすわーむ 主任研究員)、小平 靖子(佐久市森林セラピー 森の案内人)

(2) 事務局 吉沢地域振興局長、丸山林務課長、西沢林産係長、武田普及係長、岩崎鳥獣対策専門員、小池林務係長

(3) 現地視察説明

南佐久中部森林組合 新津参事、南相木村 狩野係長、川上村 山中地域林政アドバイザー

### 4 会議事項

(1) 平成30年度森林づくり県民税活用事業の評価及び検証

(2) 令和元年度森林づくり県民税活用事業の内容及び目標

(3) その他、意見交換

### 5 会議で出された主な御意見

・森林づくり推進支援金の各市町村における評価及び検証について、数字など科学的な根拠も取入れて客観的に検証するよう統一した方がよいと思う。

・森林づくり推進支援金について、配当額が少額な市町村は事業効果が表れにくいと感じる。

# みんなで支える森林づくり地域会議における意見等

佐久地域 (R元第1回)

## 1 平成30年度森林税活用事業の評価及び検証について

事業名	意見の内容	備考
森林づくり推進支援金	<ul style="list-style-type: none"><li>・評価及び検証について、数字など科学的な根拠も取入れて客観的に検証するよう統一した方がよい</li><li>・配当が少額な市町村があり、事業の効果が表れにくいのではないかと</li></ul>	

## 2 その他

項目	意見の内容	備考
その他	<ul style="list-style-type: none"><li>・自分の所有する森林の状況、必要な施業内容等が定期的わかるシステムがあればよいと思う。</li></ul>	

※必要に応じて適宜行を追加または削除してください。

## 第1回 みんなで支える森林づくり佐久地域会議議事録

令和元年7月29日 13:55～14:30

南佐久南部森林組合会議室

### 事務局

時間前ですが、出席予定の委員が揃いましたので、これから「令和元年度 第1回 みんなで支える森林づくり佐久地域会議」を開会いたします。

会議に先立ちまして、佐久地域振興局長 吉沢 久より、ごあいさつ申し上げます。

### 吉沢局長 ～あいさつ～

本日は「みんなで支える森林づくり佐久地域会議」を開催しましたところ、お忙しい中ご出席をいただき誠にありがとうございます。

また、午前中は、山の中まで、現地視察をしていただきましてありがとうございます。

さて、私たちの暮らしは、森林の様々な恩恵のもとで平安に営まれています。

それは、健全な森林が育まれていることが大前提であり、手入れがされた森林でこそ水源をかん養する機能や山地災害を防ぐ機能、地球の温暖化を防止する機能、木材を生産する機能など、多面的な機能が発揮されます。

このことから、国民全てで森林を守り育てていくための「新たな森林管理システム」が、本年度スタートしました。

この制度は、経営管理が行われていない個人等が所有する森林について、市町村が経営管理をおこなっていくものです。

併せて、森林整備を継続的に実施することを目的に、令和6年度から「森林環境税」が導入されることとなり、それまでの間、県・市町村には前倒しして、本年9月から「森林環境譲与税」の配分が開始されます。

また、当地域は、日本でも有数のカラマツ林業地帯であり、今まで育ててきたカラマツが伐採する時期をむかえています。これに伴って、森林の手入れの方法も間伐などの保育から、収穫する主伐へと 県下に先駆けてシフトしてきており、「伐って、使って、植える」という森林循環の構築が重要となっています。

このような状況の中、県としましても、市町村や林業関係者の皆さんと連携して「しあわせ信州創造プラン2.0」に位置付けた、カラマツの有効利用、需要拡大による持続可能な林業経営を目指しての取組みや2年目となる第3期長野県森林づくり県民税を活用しての里山整備・利活用に取組んでまいります。

本日は、令和元年度において第1回目ということで、昨年度に実施いたしました長野県森林づくり県民税活用事業の評価と検証をお願いします。

さらに、これを踏まえて、今年度、実施の計画をしています令和元年度の事業について、その実施の内容等について御意見をいただきたいと考えています。

皆さんからいただきました御意見については、県庁で開催されます「みんなで支える森林づくり県民会議」へ伝えるとともに、佐久地域における森林づくり県民税活用事業の実施にあたり、できるだけ反映させていきたいと考えておりますので、忌憚のない御意見をよろしくお願いします。

### 事務局

議事に入る前に、委員の交代がありましたので、ご報告します。教育関係ということで、佐久穂町教育委員会こども課長の高見澤委員にお願いしておりましたが、4月の定

期異動で変わられ、後任の友野課長に委員をお願いしております。本日は、都合により欠席をされております。

また、事務局においても定期異動で変わりましたので、御紹介をさせていただきます。  
(丸山課長、西沢補佐 紹介)

また、本会議の開催要領を変更しましたので、ご報告させていただきます。

(内容等説明)

## 事務局

会議の議長につきましては、みんなで支える森林づくり佐久地域会議開催要綱第4の2項により、座長が当たる事となっております。油井座長さんに座長席に移動していただき、議事の進行をお願いしたいと思います。

## 座長      ～あいさつ～

座長の油井でございます。

委員のみなさんにおかれましては、御多忙の中、「みんなで支える森林づくり佐久地域会議」に御出席いただき、午前中の視察ありがとうございました。

また、本日は、川上村までお越しいただき、ありがとうございます。

会議事項は その他、意見交換までいれて3つです。

現地も見えていただいたことから、より理解が深まったと思われます。また、出席委員さんもいつもより少ないことから、活発に御意見等をいただき、有意義な会議としたいと考えておりますので、よろしくお願い致します。

なお、概ね 14 時半頃までに会議を終了したいと思いますので、円滑な議事の進行に御協力をお願いします。

## 事務局

会議事項に入らせていただきたいと思いますのですが、まず、資料の確認をお願いします。

(各資料の確認)

それでは、議事の進行を油井座長さんお願いします。

## 座長

それでは、会議事項に入ります。

会議事項1「平成30年度森林づくり県民税活用事業の評価及び検証」を議題とします。

事務局から説明をお願いします。

## 事務局

資料1及び資料2

「平成30年度森林づくり県民税活用事業の評価及び検証」により説明

## 座長

只今の説明に対し、御質疑、御意見をいただきたいと思います。いかがでしょうか。

## 委員

森林づくり推進支援金の検証及び評価について、記載の仕方、内容が市町村ごとにバラバラのような感じであり、同様な事業を実施している場合でも効果があったのか評価がしにくいように思えます。

数字など科学的根拠を基に検証するようにしたほうがよいと思います。例えば、緩衝帯の効果について、整備前のクマの出没回数と整備後の出没回数を比較するとか、客観的な検証で、誰にでもわかるような記載の仕方に統一してほしいと思いました。

## 事務局

事業が単年度の実施で、事業規模が比較的小さいことから、各市町村の担当者は、数字による評価がしにくい状況にはあると思います。

## 事務局

検証及び評価の様式は決められたものであるが、記載の仕方まで統一を図っていませんでした。

記載内容を出来るだけ統一にして、同じような事業の効果が比較できるようにしたいと思います。

数字など科学的な検証については、全事業で実施するのは難しいかもしれませんが、できるだけ数字などの根拠に基づく検証となるように、市町村の担当者に対して助言等を行っていきたいと思います。

## 委員

市町村に配分される予算は、どのように決められるのか。比較的少額な市町村もあるが、重要な事業で、要望をあげれば、認めてもらえるのでしょうか。

## 事務局

2期までの森林税については、基本額にプラス、民有林面積、人口などにより市町村への基本配分枠と、加えて、間伐の推進状況による重点配分枠がありました。

3期からは、民有林面積、人口などの計算により、県庁で各市町村への額は決められて、予算の配当があります。

## 委員

支援金の配当額が少額の市町村から不満はでないのでしょうか。

## 事務局

森林税の1期から実施している事業で、導入の当時において、配当の因子、計算方法など議論したことから、現在においては、ご理解を得て実施している状況にあります。

## 座長

私からも質問してよいですか。

森林づくり推進支援金の使い道をみると、松くい虫対策や緩衝帯整備など市町村において、大事な部分に使われているように感じます。

少ない市町村は、十数万円の少額の予算で事業を実施し、その効果が表れるのか。また、どんなに重要な事業内容でも要望額を聞いてもらえずに、配当額が決まってしまえば、事業の効果が表れにくいのではないかと感じます。

## 事務局

松くい虫の被害対策については、国の事業を活用しての対策事業を、別に実施しています。森林づくり推進支援金は、それら事業の対象とならないところで、実施しているもので、本対策事業を補完するような形で実施しているものです。

木育関連の事業でも「子どもの居場所」木質空間整備事業があり、この事業については、公募ですが、要望を聞く中で予算づけしております。

## 座長

例えば、豪雨などにより、災害が発生した場合においても予算の枠が決まっていて、配当してもらえないのでしょうか。

## 事務局

災害については、その復旧や予防など適応する別の事業で、それらの事業で、それぞれ対応します。

## 事務局

市町村ごとに、予め予算額が決まって配当されるのは、森林づくり推進支援金だけで、その他の事業は要望を聞いたうえで予算額が決まります。

## 座長

わかりました。

ほかにご質問。ご意見があればお願いします。

## 委員

みんなで支える森林づくり推進事業において、目指す成果・成果目標が「森林税の用途

の認知度 30%」とあるが、現在は何%なのですか。

#### 事務局

これは、県全体の数字で、資料「平成 30 年度 みんなで支える森林づくりレポート」を見てください。ページ 24 にありますが、30%の目標に対して、県政モニターでの実績は46%となっています。

#### 座長

まだ御意見もあろうかと思いますが、次の議題に移り、その後の質疑の中で、発言してもらえればと思います。

それでは、会議事項 2「令和元年度 森林づくり県民税活用事業の内容及び目標」を一括して議題とします。事務局から説明をお願いします。

#### 事務局

資料 3「令和元年度 森林づくり県民税活用事業の内容及び目標」により  
説明

#### 座長

只今の説明に対し、御質疑、御意見をいただきたいと思います。いかがでしょうか

#### 座長

ないようでしたら、

それでは、会議事項 3「その他 意見交換」ですが、事務局から何かありますか。

#### 事務局

資料 4「新たな森林管理システムの円滑な導入について」により説明

#### 座長

只今の説明だけでなく、それ以外のものも含めて、ご質疑、ご意見をいただきたいと思えます。いかがでしょうか。

#### 委員

森林づくりが三世代に渡っており、祖父の植えた木を孫は知らない状況になっています。今、育った、立木の価値を知らない人たちが多すぎると思えます。

自分の所有する森林の状況や必要な施業の内容などが、5年に1度ぐらい知らされて来る「森の定期便」のような仕組みがあったらいいと思うのですが。

## 事務局

森林組合や林業事業体が森林所有者に代わって森林経営計画をたて、経営管理をしています。

経営計画がたてられずに、整備されない森林については、先ほど話しをさせていただいた「新たな森林管理システム」が、これにあたると思います。

## 委員

森林を所有する人が持続的に、その森林を所有し、財産の価値を知ってもらうことが大事だと思っています。そのような窓口、システムがあればいいなと思います。

## 事務局

今年度から始まりました「新たな森林管理システム」では、個人から預かった森林においても、木材の売上を所有者へ返すことができます。

実際に森林整備が始まるのは、もう少し時間がかかりますが、このシステムが充実したものになるよう市町村に対して支援をしてまいりたいと考えています。

## 座長

貴重なご意見をいただき、ありがとうございました。

本日予定していた議題は全て終了しましたので、議長を降任します。御協力ありがとうございました。

## 事務局

油井座長様、どうもありがとうございました。

委員の皆様、どうもありがとうございました。

次回は、来年2月頃に、本年度の実施した事業について、説明をさせていただき、御意見をいただきたいと思います。

以上で会議を閉じさせていただきます。

皆様、本日はお忙しい中、御出席をいただきありがとうございました。